



今月の特集関連本 ⑥

本欄で紹介した書籍は、読者アンケート (p.367) に
ご回答いただいた方に、抽選でプレゼントいたします。



『medicina』2019年2月号 抗血栓療法のジレンマ 予防すべきは血栓か、出血か？

上妻 謙＝企画

本体 2,600 円＋税／B5 判・190 頁／医学書院／2019

表紙デザインが変わってリフレッシュした『medicina』の2月号。超高齢化と生活習慣の変化、さらに直接経口抗凝固薬 (DOAC) といった新薬の登場にも後押しされて、抗血栓療法の対象となる患者は増加を続けている。その一方で、特に抗血小板薬の2剤併用療法 (DAPT) では、抗血栓作用の弊害である出血リスクが問題視されるようになり、単に血栓リスクだけを考えていけばよい時代ではなくなった。本特集では現在のエビデンスに基づいて、抗血栓薬の基本とその使い方を解説する。



『medicina』2018年3月号 クリニカル・クエスチョンで学ぶ 循環器薬の使い方

平岡 栄治＝企画

本体 2,600 円＋税／B5 判・180 頁／医学書院／2018

循環器疾患を総合内科で診ることは多い。高血圧・脂質異常症・心房細動・心不全などのコモディティーズの薬物療法では適切な治療・管理のために薬の知識が必要となるが、エビデンスは次々に蓄積あるいは変化し、新薬も多く難解である。本号では、クリニカル・クエスチョン形式で循環器薬の疑問・悩みを明確に示し、要点を読み解きやすくまとめた。